

地域おこし協力隊通信(No. 46) 中種子町の未来を話しませんか(由華)

4月より中種子町の地域おこし協力隊として活動し、もう6ヶ月が経ちます。東北の地元では紅葉する景色を見て秋を感じていましたが、みなさんはどのような時に秋を感じるのでしょうか。中種子町の秋を、ぜひ教えて頂けると嬉しいです。

◇ まずは報告です！中種子町を盛り上げたい皆さんとスープを食べながら中種子町の未来を話し合うイベントを考えています。

こんなイベントがあったらいいかも。Uターンできるような地域でどんなだろう。集落の空き家を改築してチャレンジする人に使ってほしい！写真と楽器でコラボレーションできないかな。

『これからの中種子町の未来』について、みなさんの素敵な考えやアイデアを交換しましょう。

◇ 詳細が決まりましたら報告しますので、是非楽しみにしてください！

次に、最近の仕事内容についてお話しします。

私たちの「やりたいこと」は、町の課題を解決しながら、魅力的な町をみなさんと一緒に創り上げていくことです。しかし最近「や

りたいこと」だけでなく、「できること」で、町役場の業務にもスキルを提供できるよう頑張っています。

具体的には、前職で培った「業務の簡素化提案」スキルを活かし、役場への「デジタル技術の導入支援」を行っています。

本年8月に総務省の公募している事業にも応募し、見事、自治体IOTを実装する支援を受けることが決まりました！

これらの「できること」を町に還元することで、行政業務が少しでも簡素化され、町民サービスの向上に掛ける時間を少しでも増やすことができれば嬉しいですね。

直接的な地域おこしではありませんが、こうやって自分たちのスキルを町に活かしてもらおうことで、いつかまちづくりにも良い影響が出てくれると期待しています。

湯目由華(ゆのめゆか)
地域デザイナー

地域の課題を住民の創造力で解決し、次世代に繋がる魅力ある地域を実現したい。みなさんの身の回りの「地域の課題」を、一緒に考えさせてください。

2020年10月号より、町の皆さんからよくいただく『地域おこし協力隊制度』や私達についての質問を、毎月少しずつ紹介しています！

【第2回】『地域おこし協力隊』ってなにしてるの？



地域おこし活動って、具体的にどんな仕事をするの？

町の募集内容によって異なるよ。それによって協力隊員の得意分野やスキルが異なるんだ。



例えば…北海道白老町の協力隊、林夫婦 (中種子町と同条件)

テーマ : 食と観光

活動内容 : 協力隊の活動費を元に、空き家をコミュニティスペース・カフェ・加工所として運営。その他にも商品開発、着地型観光プログラムを作成・運用。

POINT : 3年後を見越して事業化を進める



総務省より、協力隊の活動は、町のやってほしい！と、協力隊のやりたい！がマッチする内容が望ましいとされています。町のやってほしいが明確なほど、協力隊は町のために動けるんですね。

地域おこし協力隊の仕事内容とは

- ① 地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR
- ② 農林水産業への従事
- ③ 住民の生活支援
- ④ イベント企画 …などなど

協力隊でも、活動内容は異なるんですね。中種子町では『商工観光』『移住/空き家』をテーマに、協力隊目線での課題の発掘と、事業計画の策定・実施となります。上記と合わせて、協力隊後も継続して行っている活動の基盤づくりが地域と共になされるかが定住の決め手となります。